

【脳卒中】

総合評価
－

理由

主要な指標である取組 1 ・ 2 の項目について評価できないため

総合評価は行わない

＜評価基準＞

A：達成している B：概ね達成している

C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている

－：その他

○ 課題と取組

課題		取組	
課題 1	脳卒中に係る普及啓発の取組	取組 1	都民に対する脳卒中医療に係る普及啓発の推進
課題 2	血管内治療を含めた救急搬送・受入体制の整備	取組 2	救急搬送・受入体制の充実を図る
課題 3	一貫したリハビリテーションの実施が必要	取組 3	一貫したリハビリテーションの推進（再掲）
課題 4	地域連携体制の構築	取組 4	地域連携体制の充実

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成 状況	出典
				4 年 目	5 年 目	6 年 目		
取組 1 取組 2	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	1,175件 (平成27年度)	増やす	1,344件 (令和2年度)	1,317件 (令和3年度)	1,148件 ※1 (令和4年度)	－	【策定時】 東京都福祉保健局調べ 【1年目以降】 「医療計画作成支援データブック」厚生労働省 ※6年目以降統計方法の変更のため評価しない
取組 1 取組 2	脳梗塞に対する血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施件数	828件 (平成27年度)	増やす	1,574件 (令和2年度)	1,698件 (令和3年度)	1,250件 ※2 (令和4年度)	－	【策定時】 東京都福祉保健局調べ 【1年目以降】 「医療計画作成支援データブック」厚生労働省 ※6年目以降統計方法の変更のため評価しない
取組 3 取組 4	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	運動器 892施設 脳血管 537施設 呼吸器 319施設 がん 117施設 心大血管 86施設 (平成29年9月現在)	増やす	運動器 1,032施設 脳血管 590施設 呼吸器 322施設 がん 130施設 心大血管108施設 (令和4年3月現在)	運動器1,071施設 脳血管 604施設 呼吸器 332施設 がん 129施設 心大血管116施設 (令和5年5月現在)	運動器1,092施設 脳血管 616施設 呼吸器 331施設 がん 126施設 心大血管122施設 (令和6年4月現在)	A ※ 3	関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」
取組 3	回復期リハビリテーション病棟の病床数	7,057床 (10万人当たり51.4床) (平成29年9月現在)	増やす	8,106床 (10万人当たり59.9床) (令和4年1月現在)	8,754床 (10万人当たり62.4床) (令和5年1月現在)	9,234床 (10万人当たり65.6床) (令和6年1月現在)	A	関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」

※ 1 計画策定時に統計の集計対象であった「クリアクター静注用」が統計の集計対象外になったため、6年目の数字は「クリアクター静注用」を除いた数字となっている。そのため6年目は策定時との直接比較ができない。

※ 2 計画策定時に統計の集計対象であった「脳血管内手術（1 箇所）」「脳血管内手術（2 箇所以上）」「脳血管内手術（脳血管内ステント）」が統計の集計対象外になったため、6年目の数字はこれらを除いた数字となっている。そのため6年目は策定時との直接比較ができない。

※ 3 リハビリテーションが実施可能な医療機関数の合計により評価している。

○ 事業実績

東京都保健医療計画(平成30年3月改定)及び 中間見直し(令和3年7月)の内容		事業名	事業概要	これまでの取組状況		令和5年度計画 (予算規模等)	国庫負担
課題	取組			令和4年度実績	令和5年度実績		
＜課題１＞ 脳卒中に係る普及啓発の取組	(取組１) 都民に対する脳卒中医療に係る普及啓発の推進	○脳卒中医療連携推進事業	○脳卒中を予防する生活習慣、脳卒中の症状、発症時の適切な対応、再発予防等についての都民、患者の理解を促進するため、ポスターやリーフレットの作成・周知、シンポジウムの開催等の普及啓発を実施する。	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 東京都の取組 ・ オンライン市民講座「三大疾病の一つ！「脳卒中」からあなたや大切な人を守るために」のオンデマンド配信（視聴回数996回） ・ 脳卒中月間（１０月）での普及啓発（東京都広報誌、ホームページ、デジタルサイネージ） ・ ポスターの配布 ・ インターネットへの普及啓発動画等の掲載 ○ 二次保健医療圏ごとの取組 脳卒中圏域別検討会による普及啓発の実施（地域の住民及び医療従事者等に対するWebによる講演会の実施等）（１０医療圏）	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 東京都の取組 ・ 市民講座「脳卒中の予防と初期対応について知ろう 東京都脳卒中普及啓発シンポジウム」開催（参加180人） ・ 脳卒中月間（１０月）での普及啓発（東京都広報誌、ホームページ、デジタルサイネージ） ・ ポスターの配布 ・ インターネットへの啓発動画等の掲載 ○ 二次保健医療圏ごとの取組 脳卒中圏域別検討会による啓発事業の実施（地域の住民及び医療従事者等に対するWebによる講演会の実施等）（１１医療圏）	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 東京都の取組 ・ 脳卒中週間での普及啓発（東京都広報誌、ホームページ等） ・ 脳卒中普及啓発講演会（１回） ○ 二次保健医療圏ごとの取組 ○ 圏域別検討会（１２医療圏）	○
＜課題２＞ 血管内治療を含めた救急搬送・受入体制の整備	(取組２) 救急搬送・受入体制の充実を図る	○脳卒中医療連携推進事業	○東京都脳卒中医療連携推進協議会を設置し、脳卒中を発症した患者を速やかに適切な医療機関に救急搬送できる体制を確保し、急性期から回復期、維持期、在宅療養に至るまで切れ目のない医療・介護サービスを受けることができる仕組みを確保する。	○東京都循環器病対策推進協議会（２回）及び同協議会医療連携推進部会（２回）が同趣旨の取組を引継いで検討 保健医療計画の進捗管理 ○東京都脳卒中急性期医療機関数 １６５施設 ※令和５年４月１日時点	○東京都循環器病対策推進協議会（４回）及び同協議会医療連携推進部会（１回）が同趣旨の取組を引継いで検討 保健医療計画の進捗管理 東京都循環器病対策推進計画改定 ○東京都脳卒中急性期医療機関数 １５９施設 ※令和６年４月１日時点	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 東京都循環器病対策推進協議会（３回） ○ 医療連携推進部会（３回） ○ 相談支援・情報提供検討部会（２回）	○
		○東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業	○東京都脳卒中急性期医療機関相互の円滑な連携を推進するため、デジタル技術を活用した医療情報共有ツールを導入する医療機関を支援する。	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 （１施設）※新型コロナウイルス感染症の影響により整備計画の見送りに伴い減少	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 （２施設）※新型コロナウイルス感染症の影響により整備計画の見送りに伴い減少	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 （６施設）	
＜課題３＞ 一貫したリハビリテーションの実施が必要	(取組３) 一貫したリハビリテーションの推進（再掲）	○地域リハビリテーション支援事業	○おおむね二次保健医療圏ごとに指定している地域リハビリテーション支援センターを拠点に、地域において様々な形態で実施されているリハビリテーション事業を支援することによって、保健・医療・福祉が連携した地域におけるリハビリテーションのシステム化を図る。	【地域リハビリテーション支援事業】 ○ 地域リハビリテーション支援センター（１２医療圏） ・ 地域リハビリテーション提供体制の強化 ・ 訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・ 地域リハビリテーション関係者の連携強化 【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施	【地域リハビリテーション支援事業】 ○ 脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施 ○ 地域リハビリテーション支援センター（12医療圏） ・ 地域リハビリテーション提供体制の強化 ・ 訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・ 地域リハビリテーション関係者の連携強化 【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施	○地域リハビリテーション支援事業 ・ 12医療圏	-
		○地域医療構想推進事業（施設設備整備）	○地域医療構想に基づき、病床の整備及び病床機能の転換を行う医療機関に対し、改修・改築等の施設・設備整備に要する経費の一部を補助することにより、都における病床機能分化を促進する。	【地域医療構想推進事業（施設設備整備）】 ○ 回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟等の施設設備整備に要する費用について補助 ・ 施設（６施設） ・ 設備（３施設） 【地域医療構想推進事業（中小病院支援）】 ○ 病床機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の強化に必要な施設設備整備に要する費用について補助 ・ 中小病院（２７施設）	【地域医療構想推進事業（施設設備整備）】 ○ 回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟等の施設設備整備に要する費用について補助 ・ 施設（4施設） ・ 設備（0施設） 【地域医療構想推進事業（中小病院支援）】 ○ 病床機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の強化に必要な施設設備整備に要する費用について補助 ・ 中小病院（37施設）	○ 地域医療構想推進事業（施設設備整備） ・ 施設（8施設） ・ 設備（6施設） ○ 地域医療構想推進事業（中小病院支援） ・ 76施設	
＜課題４＞ 地域連携体制の構築	(取組４) 地域連携体制の充実	○脳卒中医療連携推進事業	○地域に根ざした医療連携を展開するために、二次保健医療圏を単位とした脳卒中医療連携圏域別検討会を設置している。	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 圏域別検討会（１０医療圏）において、地域の脳卒中に係る医療機能の把握と情報共有、急性期から回復期、在宅療養に至るまでの連携方法等について検討を行い、地域の取組を推進	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 圏域別検討会（１１医療圏）において、地域の脳卒中に係る医療機能の把握と情報共有、急性期から回復期、在宅療養に至るまでの連携方法等について検討を行い、地域の取組を推進	【脳卒中医療連携推進事業】 ○ 圏域別検討会（１２医療圏）	○

【 心血管疾患 】

総合評価
A

＜評価基準＞
A：達成している　　B：概ね達成している
C：やや達成が遅れている　D：達成が遅れている
－：その他

○ 課題と取組

課題		取組	
課題１	心血管疾患の発症予防	取組１	発症予防のための普及啓発
課題２	都民や患者家族による応急手当の普及推進	取組２	都民や患者家族による応急手当の普及推進
課題３	速やかな初期治療の実施	取組３	速やかな初期治療の実施
課題４	早期退院の促進から重症課予防・再発予防までの継続的な支援	取組４－１	早期退院と社会復帰の促進
		取組４－２	重症化予防・再発予防のための継続的な支援

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成 状況	出典
				４年目	５年目	６年目		
共通	虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率（人口10万対）	【平成27年人口モデル】 男性　120.2 女性　55.1 （平成27年） ※１	下げる	－	－	【平成27年人口モデル】 男性　107.0 女性　43.3 （令和２年）	A	人口動態統計特殊報告
取組２	AEDマップ登録数	29,385件 （平成29年10月1日現在）	増やす	32,029件 （令和4年5月30日現在）	32,914件 （令和5年8月2日現在）	34,466件 （令和7年3月13日現在）	A	日本救急医療財団 全国AEDマップ
取組２	バイスタンダーによる 応急手当実施率 ※２	29.26% （平成27年）	上げる	38.39% （令和3年）	42.58% （令和4年）	44.67% （令和５年）	A	救急災害医療課集計
取組３	東京都CCUネットワーク 参画医療機関数	72施設 （平成29年10月1日現在）	維持する	73施設 （令和4年3月31日現在）	76施設 （令和5年3月31日現在）	76施設 （令和6年3月31日現在）	A	東京都CCU連絡協議会 参加医療機関数
取組４－１	退院患者平均在院日数	7.6日 （平成26年）	維持する	－	5.7日 （令和２年）	5.9日 （令和５年）	A	患者調査
取組４－１ 取組４－２	心血管疾患リハビリ テーションが実施可能 な医療機関数（心大血 管疾患リハビリテー ション料Ⅰ・Ⅱの届出 施設数）	86施設 （平成29年9月1日時点）	増やす	108施設 （令和4年3月現在）	116施設 （令和5年5月現在）	123施設 （令和7年1月現在）	A	施設基準届出受理医療 機関名簿

※１　計画策定時は昭和６０年の人口モデルにより算出された平成２７年の年齢調整死亡率を基準として設定したが、その後平成２７年の人口モデルにより算出された平成２７年の年齢調整死亡率が公表されたため、この数字により６年目（平成２７年の実行モデルによる令和２年の年齢調整死亡率）との比較を行っている。

※２　バイスタンダー：救急現場に居合わせた人

○ 事業実績

東京都保健医療計画(平成30年3月改定)及び 中間見直し(令和3年7月)の内容		事業名	事業概要	これまでの取組状況		令和5年度計画 (予算規模等)	国庫 負担
課題	取組			令和4年度実績	令和5年度実績		
<課題 1> 心血管疾患の発症予防	(取組 1) 心血管疾患の発症予防	生活習慣改善推進事業	都民一人ひとりが望ましい生活習慣を継続して実践し、生活習慣病の発症・重症化予防を図るため、区市町村や民間団体等と連携し、都民自らが負担感のない生活習慣の改善を実践できるよう、普及啓発及び環境整備を行います。	○地域における食生活改善普及事業 野菜メニュー店の普及（令和4年度末時点426店※）。 ※引き続き普及を行っているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、全体数は減少。 ○中食・内食における野菜摂取の普及啓発 都民向けガイドブック「野菜、あとい皿！」を改訂・デジタルブック化し、働く世代の野菜摂取量の増加をめざし、デジタルブックに誘導する普及啓発を都内コンビニにおいて実施。 ○野菜を食べる！習慣づくり 調理師団体と連携し作成した、「野菜たっぷりかんたんレシピ」を、レシピ検索サイトへ掲載。 ○あと10分歩こうキャンペーン 区市町村等が作成するウォーキングマップを特設サイトに追加・更新（令和4年度末時点50区市町村508コース掲載）。また、日常生活における階段利用等を促進。 ○健やかな睡眠を得るための普及啓発事業 職域向けイベント等を通じて、「適切な睡眠の意義やとり方」等に関するパネルやポスターの展示、リーフレット配布を行い、企業経営者や人事労務担当者、働き盛り世代個人に対して、睡眠に関する正しい知識の普及啓発を実施。 ○変化した日常生活における生活習慣改善に向けた取組 コロナ禍の変化した日常生活において負担感なく実践できる健康づくりのポイントを紹介する特設サイトを、紙媒体も活用して職場、家庭に向けて広く啓発。	○地域における食生活改善普及事業 野菜メニュー店の普及（令和5年度末時点404店※）。 ※引き続き普及を行っているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大以降廃業する店舗が多く、全体数は減少。 ○中食・内食における野菜摂取の普及啓発 働く世代に向けて、手軽に野菜を食べてもらえるようSNSやスーパーマーケットで野菜の摂り方のヒントを発信。 ○野菜を食べる！習慣づくり 調理師団体と連携し作成した、「野菜たっぷりかんたんレシピ」を、レシピ検索サイトへ掲載。 ○あと10分歩こうキャンペーン 区市町村等が作成するウォーキングマップを特設サイトに追加・更新（令和5年度末時点62区市町村529コース掲載）。また、日常生活における階段利用等を促進。 ○健やかな睡眠を得るための普及啓発事業 職域向けイベント等を通じて、「適切な睡眠の意義やとり方」等に関するパネルやポスターの展示、リーフレット配布を行い、企業経営者や人事労務担当者、働き盛り世代個人に対して、睡眠に関する正しい知識の普及啓発を実施。 ○変化した日常生活における生活習慣改善に向けた取組 コロナ禍の変化した日常生活において負担感なく実践できる健康づくりのポイントを紹介する特設サイトを、紙媒体も活用して職場、家庭に向けて広く啓発。	12,059千円	-
<課題 2> 都民や患者家族による応急手当の普及推進	(取組 2) 都民や患者家族による応急手当の普及推進	心臓循環器救急医療体制整備事業	救急告示医療機関の制度を補完する対策の一つとして、都内のCCU救急医療施設のレベルアップと連携体制を確立し、心臓循環器患者の救命率の向上と生命の安全を図ります。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ホームAEDファンド、AED講習会いずれも未実施	AED講習会（1件）実施	○ホームAEDファンドの実施 ○AED講習会の実施	○
		AEDマップ適正登録緊急対策事業	日本救急医療財団が運営する全国AEDマップへの具体的な設置場所や使用可能時間等の登録を推進することでAEDマップの利便性を向上させ、緊急時に速やかにAEDを利用できる環境づくりを進めます。	○各区市町村に対して、区・市課長会への説明を通じて、情報登録を促進。	○各区市町村に対して、区・市課長会への説明を通じて、情報登録を促進。	○区・市長会における情報登録の促進の実施	-
<課題 3> 速やかな初期治療の実施	(取組 3) 速やかな初期治療の実施	心臓循環器救急医療体制整備事業	救急告示医療機関の制度を補完する対策の一つとして、都内のCCU救急医療施設のレベルアップと連携体制を確立し、心臓循環器患者の救命率の向上と生命の安全を図ります。	○東京都CCU連絡協議会 4回開催(書面・Web開催) ○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議 2回開催(書面・Web) ○東京CCU研究会 1回開催 (Web)	○東京都CCU連絡協議会 4回開催 ○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議 2回開催 ○東京CCU研究会 1回開催	○東京都CCU連絡協議会の開催 ○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議の開催 ○東京CCU研究会の開催	-
<課題 4> 早期退院の促進から重症化予防・再発予防までの継続的な支援	(取組 4－1) 早期退院と社会復帰の促進			○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、東京都CCU心不全フォーラム未実施	○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、東京都CCU心不全フォーラム未実施	多職種向け研修の開催	-
	(取組 4－2) 重症化予防・再発予防のための継続的な支援						